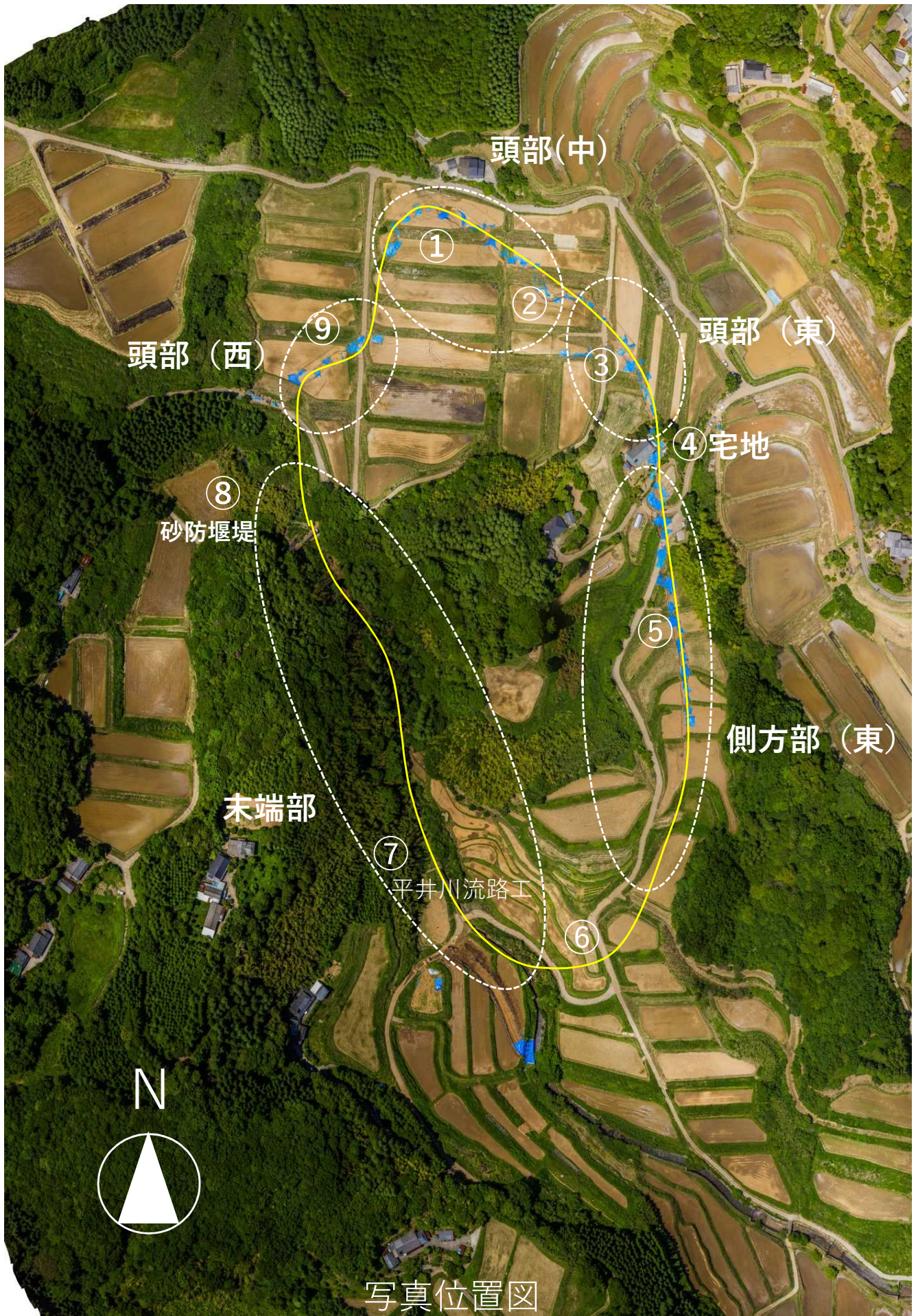


2 被害状況



[1]被害の進行状況

■ 地すべり頭部(写真位置①)

H29年5月23日



変状確認直後
水田内にクラックが発生し、
一部に高さ30 cm程度の段差
を生じる



H29年6月5日



変状が進行し、高さ1.2 m
程度の崖地形を形成する



H29年7月21日



さらに変状が進行し、
崖地形は、高さ2.5 m
程度にまで拡大し、
幅5m程度の陥没帯が
形成される。

■ 地すべり頭部(写真位置①)



H29年5月19日

変状確認直後
水田内にクラックが発生し、
一部に高さ30 cm程度の段差
を生じる



H29年5月26日

変状が進行し、高さ1.2 m
程度の崖地形を形成する



H29年6月16日

さらに変状が進行し、
崖地形は、高さ2.5 m程度に
まで拡大し、幅5m程度の
陥没帯が形成される。

■地すべり側方部(東)(写真位置⑤)



変状確認直後
民家庭先のコンクリート舗装
に幅2cm程度のクラックが確
認される



地すべり滑動に伴い、ブ
ロック内の土塊が民家を乗
せたまま3m程度沈下。
沈下に伴い、崖地形が形成
される(ブルーシート部分)

■ 地すべり側方部(東)の圃場(写真位置⑤)



H29年5月23日

変状確認直後
水田内に、所所へ開くラックが
確認される。



H29年6月20日

H29年7月21日



地すべり滑動が進行し、幅3m、高さ2m程度の
陥没帯が形成された。また、原地形と地すべり
ブロックでは約2mのずれが生じた。

■ 末端部 平井川流路工(写真位置⑦)

H29年5月26日



変状確認直後

右岸側護岸工に非常に軽微なクラックが確認されたが、目立った変状はみられなかった。



H29年5月31日



左岸側護岸工のせり出し、
右岸側護岸工の倒壊が発生。



H29年6月14日



両岸ともに崩壊し、
平井川は閉塞状態となる。

■平井川砂防堰堤(写真位置⑧)



変状確認直後
堤体に5cm程度のクラックが
確認される。



砂防堰堤左岸側が地すべり末端部となり、すべり末端のはね上げの影響を受け、砂防堰堤左岸側が3m程度持ち上げられ、座屈し崩壊。水通しより右岸側は目立った変状はみられていない。

■ 地すべり側方部(東)(写真位置⑤)



変状確認直後
市道に2cm程度の段差亀裂
が確認される。



変状が拡大し、市道は一部陥没。



さらに変状は拡大し、市道は完全に陥没。
高さ3m程度の崖地形を形成した。

[2] 発生11日後の被害状況

■ 地すべり頭部(全景 写真位置①)



水田に発生した段差亀裂
段差約1.5m



水田の段差亀裂
段差約1.5m

■地すべり頭部(全景 写真位置②)



頭部の開口亀裂
幅約2m、段差約1.5m



頭部の開口亀裂
幅約2m、段差約70cm

■ 地すべり頭部(東)(頭部の水田及び農道の段差亀裂 写真位置③)



頭部の水田の段差亀裂
段差約1m



市道の開口亀裂
幅約1m、段差約70cm

■地すべり頭部(東)(写真位置③)



頭部の農道の段差亀裂
および
水田斜面の陥没帯



水田斜面の陥没帯
幅約2m



市道の段差亀裂
段差高約40cm

■ 地すべり頭部(西)(写真位置⑧)



水田に生じた
陥没帯と段差亀裂

水田に生じた開口亀裂
幅約2m、段差約1m



水田に生じた段差亀裂
段差約1m

■ 末端部の被害状況(写真位置⑥⑦)



圧縮により座屈した市道

地盤変動によりずれが生じた水路



平井川左岸側護岸に押され
座屈した底板コンクリート

市道橋に押され座屈した右岸側市道

